

カツオ 大西洋

Skipjack, *Katsuwonus pelamis*

管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

最近の動き

2014 年に ICCAT により資源評価が行われた。2015 年の 10 月に ICCAT の科学委員会 (SCRS) が開かれ、漁獲統計の更新が行われた。

生物学的特性

- 体長・体重：尾叉長 100 cm・15 kg
- 寿命：6 歳以上
- 成熟開始年齢：満 1 ～ 2 歳
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃以上の海域
- 索餌場：熱帯～温帯域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海鳥類など

利用・用途

缶詰など加工品

漁業の特徴

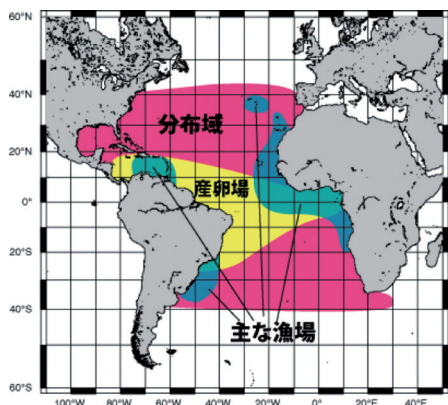
主要な漁業は、東部大西洋でのスペインのまき網、ガーナ、スペイン等の竿釣り、西部大西洋でのブラジル等の竿釣り、ベネズエラによるまき網である。ひき縄やはえ縄でも、わずかに漁獲される。東部大西洋では、近年パナマの漁獲量が増加し、フランスやポルトガルよりも多くなった。主な漁場は、アフリカ西岸ギニア湾の赤道を中心とした熱帯域～北西岸モーリタニア沖のまき網漁場と、ブラジル南東岸沖の竿釣り漁場である。まき網は、1991 年から FADs (人工流木) 操業が本格化し、漁獲量が増大した。

漁獲の動向

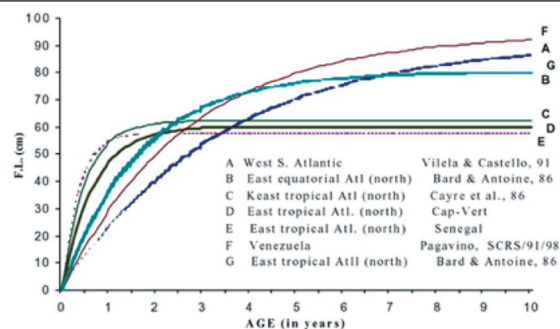
年間漁獲量は 1960 年代には 1 万～5 万トン、1970 年代には 5 万～12 万トン、1980 年代には 11 万～16 万トンで推移した。まき網の FADs 操業開始により、1991 年 22 万トン、1993 年の 20.9 万トンがピークで、1995 年以降は 11 万～17 万トンで推移している。2010 年以降、漁獲量は 20 万トンを超えるようになり、2012 年は 26.2 万トンと歴史的に最も多い漁獲量を記録し、2014 年も 23.2 万トンの漁獲があった。日本の竿釣りは、1980 年代前半まで東部大西洋で操業し、1976～1981 年には 1.2 万～1.7 万トンを漁獲したが、現在は行われていない。

資源状態

2014 年 6 月に ICCAT において資源評価が実施された。大西洋における本種の生物・漁業学的特徴を考慮して東部・西部大西洋の 2 海域に区分して資源評価を実施した。東部大西洋では 2 種類のプロダクションモデル (BSP, ASPIC) 及びその他の 2 種類のモデル (漁獲量のみを用いる資源評価モデル、Gedamke and Hoenig model) を用いて解析を試みた。これらのモデルからは信頼性のある MSY が得られなかったが、乱獲状態に陥っていることを示す指標も認められていない。西部大西洋では MSY は 30,000 ～ 32,000 トンと推定され、資源状態は MSY からの相対値で示された。B₂₀₁₃/B_{MSY} はおよそ 1.3、F₂₀₁₃/F_{MSY} はおよそ 0.7 である可能性から、西部大西洋では乱獲状態には陥っていないと推定された。以上から、資源は高位で横ばいと判断された。



大西洋のカツオの分布域、産卵場及び主な漁場



大西洋のカツオの年齢と体長の関係

A ～ G の曲線は各海域で報告されたカツオの成長を示す

管理方策

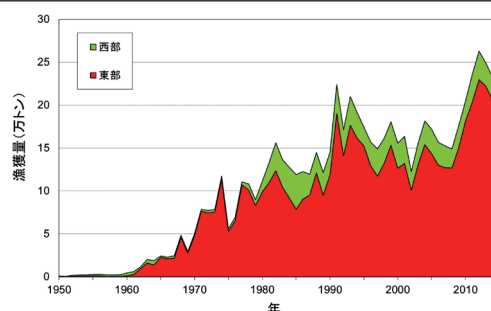
2014 年 11 月の ICCAT 年次会合において、データ不足に起因する資源評価の不確実性が SCRS から指摘されていることを踏まえ、既存の熱帯まぐろ保存管理措置に含める形で、管理方策が初めて設定されることとなった。それにより、カツオを漁獲する漁船の ICCAT への登録、FADs 操業の禁漁区・禁漁期等が設定されることとなった。

資源評価のまとめ

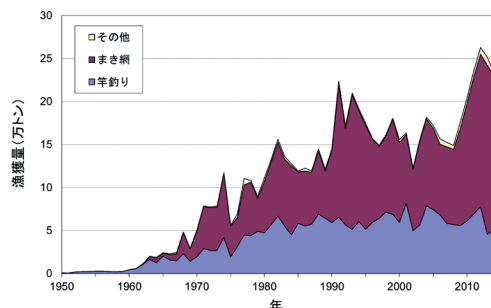
- 2014 年 6 月に東部・西部大西洋の 2 海域に区分して各種モデルを用いて資源評価を実施。
- 両海域ともに資源は乱獲状態には陥っていないと推定され（西部太平洋： B_{2013}/B_{MSY} はおよそ 1.3）、高位で横ばい。

管理方策のまとめ

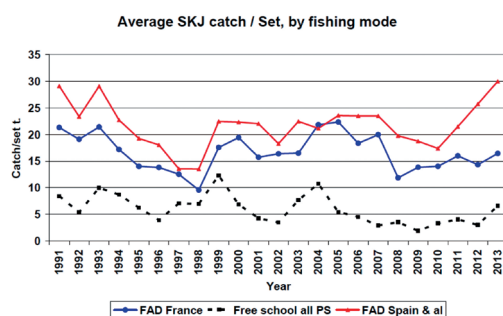
- FADs 操業における禁漁区・禁漁期の設定（東部大西洋・ギニア湾）。
- 操業する漁船の ICCAT への登録。



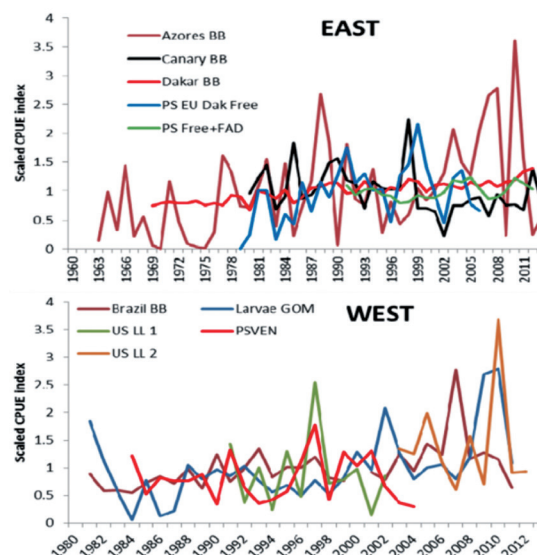
東部及び西部大西洋におけるカツオ漁獲量の年変化



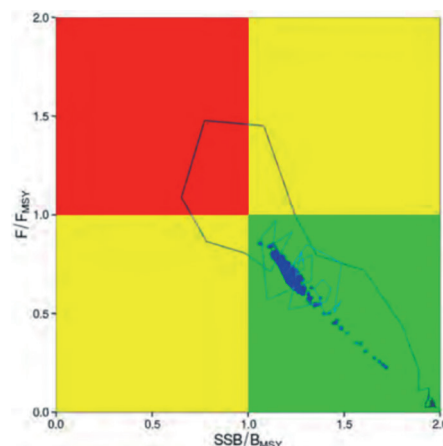
大西洋におけるカツオの漁法別漁獲量の年変化



東部大西洋におけるまき網によるカツオ漁獲量（1 操業あたり漁獲量）の経年変化
 FAD France：フランスのまき網船・FADs 操業、FAD Spain & al：スペイン・その他のまき網による FADs 操業、Free school all PS：まき網による素群れ操業



東部大西洋（上）及び西部大西洋（下）におけるカツオ CPUE の経年変化
 Azores BB：アゾレス諸島の竿釣り、Brazil BB：ブラジルの竿釣り、Canary BB：カナリア諸島の竿釣り、Dakar BB：セネガルの竿釣り、Larvae GOM：メキシコ湾における仔魚採集データ、PS EU Dak Free：ダカールに水揚げされたヨーロッパまき網船の素群れ操業、PS Free+FAD：まき網（素群れ＋FADs 操業）、PSVEN：ベネズエラのまき網、US LL：アメリカのはえ縄

Schaefer 型の ASPIC から推定された西部大西洋のカツオにおける B/B_{MSY} と F/F_{MSY} の歴史的推移

カツオ（大西洋）の資源の現況（要約表）

資源水準	高 位 ^{*1}
資源動向	横ばい ^{*1}
世界の漁獲量 （最近 5 年間）	20.4 万～26.2 万トン 平均：23.6 万トン （2010～2014 年）
我が国の漁獲量 （最近 5 年間）	1～5 トン 平均：3 トン （2010～2013 年）
最新の資源評価年	2014 年
次回の資源評価年	未 定

^{*1}2013 年資源評価の資源状態及び過去 5 年の漁獲量の動向に基づく